

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	浄水場維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	水道工務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開		主管課長	矢幡 哲夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	給水を受ける市民	意図	浄水場施設の機能を良好な状態に維持する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能を確保するための法定点検等の委託の実施。 施設の機能を保持するための修繕の実施。 水道水質を確認するための水質検査の委託の実施。 			
事業開始から現在までの状況変化	従前の「浄水場の運転・維持管理事業」から維持管理部門のみを独立させて、平成22年度から「浄水場維持管理事業」として事業を開始した。平成25年度からは委託業務範囲を拡大して事業を開始している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	水質基準達成度	100	100	100	%	→→	水質基準値保持回数/水質検査回数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・水質検査結果について、前年度の測定値及び評価、また現年度の毎月の速報値をホームページで公開し、水道水の安全性に対する透明性を図っている。 ・平成23年度からは、定期的に水道水の放射性物質の測定を実施し、測定値をホームページで公開している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		43,049,981	26,831,353	30,204,479				
事業費(b)(円)		35,342,781	21,436,593	24,339,609				
うち一般財源		35,342,781	21,436,593	24,339,609				
職員給与費(c)(円)		7,707,200	5,394,760	5,864,870				
人役・職員(人)		1.04	0.63	0.77				
人役・再任用(人)		0.24	0.49	0.33				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・浄水場運転及び維持管理業務委託で行っている修繕を効果的に活用する。	③取組における課題(Check)	・修繕を含む保全管理について、重要度や影響度、費用対策効果を踏まえ、最も効率的で経済的な方法を選定することが重要である。
②H30に実施した取組(Do)	・適切な定期点検を実施し、配水地水位計やろ過ポンプ等を予防保全により修繕することができた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・各設備の更新を見すえた長期保全管理計画を策定し、日常点検・月次点検・年次点検・消耗部品交換を実施する。